

※病院名	静岡医療センター
※保育士数	6名
施設の 事業内容	療養介護事業・医療型障害児入所事業あわせて58床 重症心身障害児者 短期入所事業2床 生活介護事業・児童発達支援事業合わせて1日5名まで

静岡医療センター

静岡医療センターは静岡県沼津市と三島市のほぼ中間、狩野川と黄瀬川の合流点に近い駿東郡清水町に位置しています。北に富士山、東に箱根連山を望む景観と温暖な気候に恵まれた、治療環境としては最適な地になります。昭和42年4月、国立三島病院と国立沼津病院が統合し国立陶生病院として発足、その後平成16年4月独立行政法人国立病院機構静岡医療センターとして改称、平成29年静岡富士病院と機能統合しました。



当院の重症心身障害者病棟(さくら病棟)は療養介護・医療型障害児入所合わせて58床、短期入所2床があります。また、生活介護・児童発達支援事業(さくらの丘)を行っています。

療育指導室には保育士6名、児童指導員2名が所属しており、利用者さんの個々の機能や特性、ニーズに応じた活動を計画、実施しています。また、利用者さん及び、ご家族が楽しく交流できる行事を開催しています。



【行事】

外出行事はショッピングセンターやボーリング場、水族館など、リフト付き福祉車両を利用して少人数ずつ実施しています。医療上の都合で外出できない方は、お楽しみ会を企画しています。季節行事は「夏祭り」「納涼会」「秋の芸術祭」「クリスマス会」など、多職種と連携して実施しています。また、二十歳を祝う会、長寿を祝う会（還暦・古希）等、人生の節目のお祝いを行っています。



【日中活動】

午前中は朝の会をプレイルームに集まって行いますが、気候の良い時期は富士山デッキやふれあいの庭に出て行うこともあります。

午後は、グループでの活動を行います。曜日ごとにグループを設定し、スヌーズレンやムーブメント、音楽活動、ボーリング、ボッチャ、カードゲーム、散歩等様々な活動を実施しています。

